

2013年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2014年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2013年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向 (2013年4月1日～2014年3月31日)

【市場動向】

2013年度の国内債券市場(新発10年国債利回り)は、日銀の金融政策による国債市場の流動性枯渇への懸念や、米国の量的緩和政策規模の早期縮小見込みによる米長期金利急騰に連動する形で上昇基調で始まりました。その後、国債市場の需給改善や、米国経済の統計悪化による先行き不透明感などから長期金利は低下し、0.6%台半ばで期末を迎えました。

外国債券市場は、米10年物国債利回りが米景気拡大期待と米量的緩和政策規模の早期縮小見込みなどから、上昇基調で推移しました。その後米雇用統計が市場予想を下回る結果になると、量的緩和政策の縮小ペースが遅れるとの思惑から金利が低下する場面も見られました。

国内株式市場は、日銀の大胆な金融政策による円安進行を受け、年度始の12,397.91円から大幅に上昇して始まりました。米国経済統計の悪化による先行きの不透明感、中国理財商品の破綻懸念、また新興国通貨の大幅下落などにより、中には下落する場面もありましたが、概して上昇傾向にあり年度末の日経平均株価は14,827.83円で取引を終えました。

外国株式市場は、米国の景気拡大期待などから上昇基調で始まりました。その後、米量的緩和政策規模の早期縮小見込みや、緩和政策の継続期待などの思惑により株価が変動する場面もありましたが、期を通じて見ると上昇基調にありました。

為替市場は、日銀による大規模な金融緩和策や米国の量的緩和縮小見込みなどから、円安ドル高基調で始まりました。その後リスク回避的な動きから円が買い戻され一時1ドル95円を割りこみましたが、リスク回避姿勢が後退し円が弱含むと上昇傾向に転じ、年度末のドル円相場は1ドル102円台後半となりました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価 (円)	10年国債利回り (日本)	NYダウ平均株価 (US\$)	10年国債利回り (米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2013年3月末	12397.91	0.560%	14578.54	1.85%	94.05	120.73
2014年3月末	14827.83	0.640%	16457.66	2.72%	102.92	141.65
変化率	19.6%	0.08%上昇	12.9%	0.87%上昇	9.4%	17.3%

2. 保有契約高

区分	件数	金額 (万円)
変額個人年金保険 I 型 (年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	18	3,900

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2013年3月末	101.4365	
2013年4月末	109.1715	+7.63%
2013年5月末	105.8326	+4.33%
2013年6月末	108.0704	+6.54%
2013年7月末	108.9076	+7.37%
2013年8月末	107.0420	+5.53%
2013年9月末	111.1967	+9.62%
2013年10月末	111.0459	+9.47%
2013年11月末	114.5404	+12.92%
2013年12月末	115.8560	+14.22%
2014年1月末	111.9898	+10.40%
2014年2月末	112.1505	+10.56%
2014年3月末	112.9204	+11.32%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの2013年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

区分	金額	構成比
現預金・コールローン	620	1.4
その他の有価証券	44,397	98.6
その他	25	0.1
合計	45,043	100.0

5. 運用収支状況 (2013年4月1日～2014年3月31日)

項目	金額
利息配当金収入	4,927
有価証券評価益	8,335
その他の収益	—
有価証券評価損	6,692
その他の費用	1
収支差計	6,569

6. 特別勘定の運用状況(特別勘定名) 国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド(適格機関投資家向け)」(運用会社:プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社)に投資することにより行います。

■運用内容

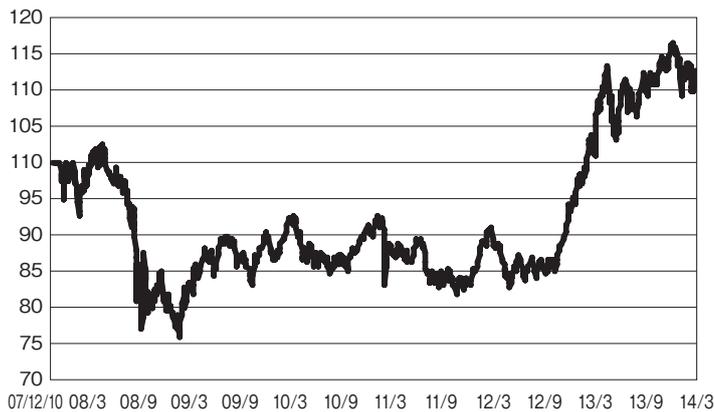
特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は98.6%です。

当年度末のユニットバリューは112.9204となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は12.92%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日:2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2013年3月末	101.4365	
2013年4月末	109.1715	+7.63%
2013年5月末	105.8326	+4.33%
2013年6月末	108.0704	+6.54%
2013年7月末	108.9076	+7.37%
2013年8月末	107.0420	+5.53%
2013年9月末	111.1967	+9.62%
2013年10月末	111.0459	+9.47%
2013年11月末	114.5404	+12.92%
2013年12月末	115.8560	+14.22%
2014年1月末	111.9898	+10.40%
2014年2月末	112.1505	+10.56%
2014年3月末	112.9204	+11.32%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2012年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位:千円)

■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド(適格機関投資家向け)	投資信託	44,397

ご契約に関する
ご照会は
コールセンターまで

☎ **コールセンター** フリーダイヤル  **0120-59-2269** ジ ブ ロック

受付時間 平日8:30～20:00 / 土曜9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)